



神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク 会報第4号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

1999年9月12日号, No.4

第4号の目次

- 1、「神奈川R Bが永く活動を続けていくために」～巻頭挨拶～
- 2、神奈川R B 6月定例会より(1999/6/6)
- 3、7月～8月イベント報告
 - アマチュア無線非常通信ネットワーク設立総会報告(1999/7/18)
 - 神奈川県西部地震シミュレーション検証走行訓練(1999/7/18)
 - 川崎災害ボランティアネットワーク防災訓練(1999/8/8)
- 4、神奈川R B 8月定例会より(1999/8/29)
- 5、第3回JRB全国大会参加報告(1999/9/3-5)
- 6、神奈川R B走ろう会報告(1999/6/26-27, 1999/7/24)
- 7、活動支援金獲得の報告
- 8、お知らせ
- 9、いり2のコラムVol.4

神奈川R Bが永く活動を続けていくために

神奈川R B副代表 井上哲也



神奈川R Bが設立して、はや半年が経ちました。神奈川R Bは、震災時の救援活動を支援することをその活動の目的としています。当然のことながら地震はいつ発生するか分かりません。明日起こらないとは言いきれませんが、数十年起こらないこともありえます。また実際に地震が起きてもその被害状況は

様々で、支援のニーズも大きく異なるでしょう。このような環境下で我々は、何をすれば良いのでしょうか。

この課題に対し、私は2つの解決策を考えます。一つは神奈川R Bのメンバー数の拡大(及び新規加入者への十分なフォロー)。もう一つはメンバー各自のスキル向上です。既に書いた様に地震はいつ起こるか分かりません。しかし私は「複数」の人間が「突発的」な事象に対して「迅速」に対応することは現実的に容易とは思えず、また、性急に組織を固めることは団体としての寿命を縮めるに過ぎないと考えます。これでは我々の目的は将来を通じて達成できません。常に新しいメンバーと共に、より多くのメンバーの意見を交え、実際に行動していくことが重要と考えます。これにより神奈川R Bは活動を長期化し、また実際に震災しても様々な支援活動を展開できるでしょう。

一方のスキル向上については、逆に近い将来の震災時活動への効果が期待できます。我々の様なただのバイク乗りが、少々震災への意識や正しい予備知識が備わるだけで、いざ震災という時にメンバーの家族や近隣住民への大きな助けとなるでしょう。これならば例えバイクを使わなくても我々の目的は十分に達成されたと考えます。

この様に考えてみると、神奈川R Bの現在の各種イベント、定例会ミーティングや震災時活動研究は、メンバーの拡大及びスキル向上に対して大きな意味を持ち、現在のこの良い流れを着実に進めてゆけば神奈川R Bの未来は明るいと思います。

6/6 神奈川R B 6月定例会より

報告者: 中島信義

日時: 6月6日(日) 10時～16時
場所: かながわ県民活動サポートセンター10階フリースペース

内容:

- 1、事務局
 - ・7月～9月スケジュールの確認
 - ・南足柄防災シミュレーション走行事前課題
 - 参集の方法、走行目的の設定など
 - ・内規に基づく副代表、谷内・入佐氏両名の退任に全員了承。



2、山田代表連絡事項

2-1、JRB機能強化に向けた理事選出の件

- ・神奈川R Bより現在の地域リーダ4名を理事に選出し、年2回のR B理事会には2名の参加を実施する方向へ。

2-2、副代表補充の件

- ・5月をもって谷内、入佐氏の両名が転居のために副代表を退任。現2名の副代表業務を補佐するスタッフを別途選任する事になるが、今期は選任しない。
- ・会員より、地域リーダの理事兼副代表補佐役の要請案があった。



3、他JRB理事会で要請のあったホームページ委員選出について

- ・担当者は、山本、太田両名との提案。承諾を得た。

7月～8月イベント報告

7/18 アマチュア無線非常通信ネットワーク設立総会

報告者: 坂本篤哉、古賀陽一

かながわアマチュア無線非常通信ネットワーク設立総会

日時: 7月18日(日) 13～16時

場所: 神奈川県民センター 3F 301号室

1 設立の趣旨、目的

- ・本ネットワーク自体が何かを行うというよりも、本団体に参加して協議し横のつながりを作成する事を目的とする。
- ・参加する各団体の標準的な非常通信の手段や、各団体の使用す

る周波数の管理を取る。

2. 留意点

縦の前例はあるが横の前例は無い為、白紙の状態から実行

個人や団体を束縛しない事を基本とする

個人の参加は基本的にその他の団体に加入していただく事を望む

3. これからのこと

本ネットワークへの加入はこれから。

本ネットワークへの加入に対して各団体に代表の選出を要求する以上、基本的な部分を列挙しました。これらの中で、このネットワークの総意的な話として、基本的に、災害時に個人で運用するものは情報交換の輪の中から除外し、情報の信頼性を保持する動きのようです。この理由は、阪神大震災の時に、「これから水の配給があります」という無線連絡に対し「先程連絡のあった配給は毒水です」というデマを流す輩がいたという事実があったからだそうです。

ところで、会則承認のひとつ手前の段階で会場から質問の嵐に見舞われ、熱のこもった議論がありました。設立総会が活発な議論の場になるのは結構なことですが、はじめの趣旨説明をもっと工夫すれば済んだのではと思われる議論もあったような気がしました。

7/18 県西部地震シミュレーション検証走行訓練

報告者： 中島信義、伊藤浩章

7月17日に神奈川RB緊急連絡網による集合連絡を行い、翌18日午前9時にえびなサポートセンターに集合しました。

・行程内容

・出発地：えびなサポートセンター
(海老名市さつき町39-1)

・目的地：南足柄市役所(南足柄市関本)

・ルート、行程：R246封鎖時の短距離ルートとした。

AM10:15 偵察隊7名 えびなサポートセンター出発

AM10:20 無線「あゆみ橋・無事通過」の連絡

AM10:22 無線「小田急ガード下・無事通過」の連絡

AM10:28 無線「東名カード下・無事通過」の連絡

AM10:52 携帯「平塚(チェックポイント2)到着」の連絡

移動本部車(中島氏所有車)えびな出発

あゆみ橋通過、相模川を渡る

AM10:30 偵察隊 厚木ICより通過 無線第一報受信

小田原厚木道路側道(平塚東ICまで)

県道62号線(東海大学の先、土屋橋まで)

県道77号線(中井町経由で大井松田ICまで)

県道78号線(大雄山駅前まで)

PM0:30 南足柄市役所 到着



・南足柄到着後、以下の各拠点を確認。

・市役所：防災担当課長須谷氏に面会し走行訓練の趣旨説明

須谷課長は日頃から地域防災組織の維持向上に活躍されています。



地域防災取り組みの難しさなどを語っていただきました。

・市営総合グラウンド：9月1日防災訓練の会場

・市青少年センター・ボランティアセンター：ボランティア受付場所

・足柄第一中学校：自衛隊・警察の駐留拠点

・南足柄市消防本部：当直担当矢野氏に面会、挨拶

・富士フィルム足柄工場：所在確認

・南足柄市体育センター：物資集積センター



PM1:30 昼食

PM3:15 小田原東川東センター

(マロニエ)到着

PM3:45 現地解散

参加者の皆さん、お疲れ様でした。

また無線連絡のご協力、メールでの

声援そして、マニュアル作成に今までご協力頂きましたメンバーに感謝いたします。

8/29 神奈川RB8月定例会より

報告者： 山本泰彦

日時：8月29日午前10時～4時

場所：かながわ県民活動サポートセンター10階フリースペース

内容：

1、7月シミュレーション検証走行訓練報告

・地元の道をよく知っている人によるナビゲーションの必要性。

2、9月1日南足柄総合防災訓練について

・行政センターから避難所用物資搬送

・本訓練へのボランティア参加団体は神奈川RBを含めて3団体。

3、全国大会について

・バイク参加者は伊藤さんに定時連絡。基本は京都中継基地経由。

4、ボランティア活動資金獲得報告

5、県サボ情報ロッカー

・データベースの一環、データの保管場所。(1団体10MBほど)

・イベント公開情報等の登録 インターネットで発信可能

・専用エリアは連絡網等保管、公開エリアで会報 3ヶ月予定公開

6、郵便受付担当

・レターケースチェック係を白井さん 原田さんへ

7、3ヶ月予定、会報(主なイベントと担当者)

10月16日グッドライダーズミーティング(世田谷):太田

23～24日第2回シミュレーション検証&キャンプ:中島、北村

(19日ボランティアのための救護法研修会):石井、河内

31日運営会議(えびな)

11月5～7日自衛隊富士学校オフロード走行訓練:山本

13日上級救命講習(横浜市防災センター):石井

(16日ボランティアのための救護法研修会):石井、河内

(27日赤十字救急法競技会):石井

12月5日定例会

(21日ボランティアのための救護法研修会):石井、河内

(23～25日、赤十字講習会(普及員)):石井

9/3 5 第3回JRB全国大会報告

報告者： 山本泰彦



9月3日夜、神奈川R BのJRB全国大会参加者は順次、奈良に向けて出発しました。天気予報は雨、車で行く人もバイクで行く人も奈良までの夜通しの移動に加え、悪天候という悪いコンディションの中での移動となりました。中島さん、北村さんが先発隊として車で出発し、道路状況や天候などの情報のやり取りをしながら、9月4日午前7時前、京都の中継基地に到着。



午前9時半、第1グループが奈良に向けて出発しました。その後、時間を置いて地元R Bの先導の元、奈良

の会場に向かいました。

午後2時より第3回JRB全国大会記念式典が行なわれました。式典のプログラムとしては



- 1、内田代表挨拶
- 2、奈良R B顧問挨拶
- 3、来賓挨拶
- 4、各ブロック代表挨拶
- 5、震災時相互協定支援協定締結
- 6、ビデオ上映

なっていました。

全国R B相互支援協定締結では、神奈川R B山田代表も署名をしました。今後は、具体的に災害時に各R B間でどのような支援ができるか、マニュアル化や日頃の協力体制を作ることが大切だと思いました。

宿泊地では午後五時半より中庭で簡単に全国大会第3部(?)交流会の開会式が行なわれました。



夕食では全国大会記念式典と並行して、炊出しボランティアに参加したR B隊員が作ってくれたハヤシライス、ビーフシチューなどが振舞われました。食事をしながら各R B和気藹々と話に花を咲かせていました。

午後7時より交流会が中庭で行なわれ、それと並行してJRB理事会が



野外活動センター2階の会議室で行なわれました。議題としては、JRBのNPO申請に関する件が多く、各理事やオブザーバーから活発な意見が出されました。JRBの位置付けについて今まで良く分からない

部分もあったのですが、印象としては「各R Bの調整機関」という考え方が一番合っているという感触を得ました。いずれにせよ、各R Bの活動がより活発になるようなサポート(いろんな意味での)方向付けがなされることを期待しています。

神奈川R B走ろう会報告

6/26 27 清里1泊ツーリング

報告者： 原俊介



26日：中央道藤野PA集合 勝沼IC 昇仙峡 清里 大泉村ななじま山荘(宿泊) 27日：山荘 中央道長坂IC 中央道一宮御坂IC 山中湖 温泉「石割の湯」 東名御殿場IC 東名足柄SA解散

6月26日、神奈川の天候は生憎の雨。しかしその雨も山梨県に入ったところですっかり止み、勝沼ICを出て皆嬉しそうにカップを脱ぎました。昇仙峡で昼食、清里清泉寮で定番のソフトクリームを食べ、宿泊場所のななじま山荘に向かいました。この日はカップを脱いでから二度と雨に



うたれることはなく、気持ちよく走ることが出来ました。



27日、肌寒さで目を覚ましました。外は小雨、ななじま山荘をでて山中湖で昼食をとり、山中湖近辺の温泉に向かいました。山中湖付近になってから雨の勢いは増すばかりで、雨に

うたれた感想は「痛い」でした。温泉を出てからは、この天候の為、高速を使って早めに帰る事に決定。東名高速に乗り足柄SAで最後の休憩ととり、そこで解散となりました。27日はとても辛かったけど、久しぶりに楽しく走ることが出来ました。

7/24 伊豆林道ツーリング

報告者： 山本泰彦

7月の神奈川R B走ろう会ツーリングは、7月24日(日) 梅雨明けの晴



晴天の中行われました。朝7時半に西湘バイパス西湘PAに集合。まず、一路東伊豆方面に向かい、白田林道をめざしました。みんな意気揚々と乗り込むと、コンクリート養生中のため通行止め。気を取り直して、荻ノ

入林道～白川林道を経て西伊豆町をめざしました。この日初めてのダート。木々や川のせせらぎ、鳥の泣き声を聞きながら好きなバイクに乗るといのは楽しいものでした。



白川林道を走破し、西伊豆町にでた後、県道59号線を北上し、仁科峠を抜け、湯ヶ島温泉をめざしました。疲れきった体を癒すには温泉が一番！国道414号線ぞいにある「湯の国会館」に立ち寄りました。帰りの時

間を気にしつつちょっと短めの温泉を満喫しました。帰り道、熱海箱根峠線はすさまじい霧で視界は数メートル、さらに体感温度は17、8度でかなり冷え込みました。

移動距離は300km以上、帰りがちょびつらいツーリングでした。

活動支援金獲得の報告

神奈川RB事務局

神奈川RB伊藤浩章さんより、松下電器産業(株)社会文化部の「ボランティア活動支援資金」に応募した結果、20万円を支援資金として貰えることになったとの連絡を頂きましたので報告致します。

使途および資金提供元への報告については

- 1).物品購入については、領収証(コピー可)
カタログまたは写真の添付
- 2).運営費・印刷物作成などについては、収支決算書
および現物添付にて、報告書を送付(自由書式)

となっています。神奈川RB運営や活動に有効活用したいと思います。

お知らせ

神奈川RBお気楽ツーリング「走ろう会」9月ツーリング案内

日時: 9月25日(土)

集合: AM8:30 国道412号線相模湖ピクニックランド入口の前

目的: 奥多摩方面お気楽オンロードツーリング

連絡先: 太田 E-mail: ma_chan@mvh.biglobe.ne.jp

Tel: 090-4817-3066 / 045-894-8742

「走ろう会」は、ボランティアもなーんにも関係ない、神奈川RB親睦の為のツーリング企画です。神奈川RB以外の友達・家族も誘って、気楽に参加して下さい。(荒天中止)

赤十字救護奉仕団によるボランティアのための救護法研修会案内

日時: 毎月第3火曜日夜7時~9時

場所: かながわ県民活動サポートセンター7階

内容: 蘇生法 止血法 包帯法 運搬法 危険予知トレーニング等

費用: 無料(資料コピー代は実費負担)

毎月恒例の救護法研修会です。ふるってご参加ください。

東京RBよりトルコ大地震救援義援金、支援金受付のお知らせ

東京RB隊長 国府田毅

甚大な被害が出ていますトルコ地震について、東京RBに対して「震災がつなぐネットワーク」より、支援協力の要請がありました。このネットワークでは、すでに現地に向かう体制を進めているということで、東京RBだけでなく、近隣RBにも呼びかけ、その活動をバックアップしたいと考えています。

支援金については東京RB口座に振り込んで頂き、東京RB事務局で一括して「NGO 救援連絡会議」に振り込む形になります。ご理解、ご協力の程、よろしくお願ひ致します。

口座: 郵便振替 00120-9-361447

名義: 調布レスキューサポートバイクネットワーク

金額: 任意

注意: 用紙に「トルコ地震支援金」と明記すること

また日本赤十字社や関係機関による募金、義援金もありますので、そちらでも支援の程よろしく願ひします。

いり2のコラムVol.4

いり2(入佐俊明)

「企業とボランティア」

阪神・淡路大震災の年はボランティア元年といわれ、多くのボランティアが集まった。また多くの企業もいろんな支援を行っていた。

食品関係の企業は食料品の提供、製薬会社は薬を配布。

しかし、企業が救援物資として発送した物が見当たらない事もあったらしい。ちなみにこの年に企業でもボランティア活動に力を入れていきましようとする企業は某コピー会社だそうだが。(実際の活動内容は知らないが)

いり2の会社でもボランティアを推奨していこうという動きが出てきて、ボランティア活動をしている人を集めてミーティングが開催された。手話をしている人、地域で野球を教えている人、休職して日本語講師として働いた人などが集められた。このミーティングは今までに2回くらい行われた。

しかし、その2回も意見交換くらいでしかなく今では何も無い。企業が社員の為にボランティアをバックアップしようという姿勢は嬉しい事だが、やはり会社としては、そればかりやられても困るのか大きな動きは無い。

例えば有休の他に特別休暇という制度がある。

これはボランティアをするための休暇と言われているが、有休を全て使用した後でなければ使用する事はできないし、おかしな制度である。(殆どの人は有休が余っているからそれを使う事はあまり無い)

新宿辺りでは、社協が中心となって各企業でボランティアを支援するという動きがあるそうだが、これは企業として宣伝効果もあるし、社協が引っ張っているから動いてくれているのだろう。

宣伝のためでも良いからボランティアや地域に対する支援は続けて欲しいと思う。

いり2のコラムVol.5予告「施設で育った奴」

乞う御期待

お問い合わせは

神奈川RB事務局

郵送先: 〒221 0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

かながわ県民活動サポートセンターレターケース No.81

Tel: 0462 47 7884(事務局加藤宅)

Fax: 0462 47 9539(事務局加藤宅)

URL: <http://cools.com/kanagawarb> E-mail: 52379663@people.or.jp

バイクによる災害時救援活動支援ボランティア

神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク会報(年4回発行)

発行者: 神奈川RB会報担当 松井嘉夫、山本泰彦